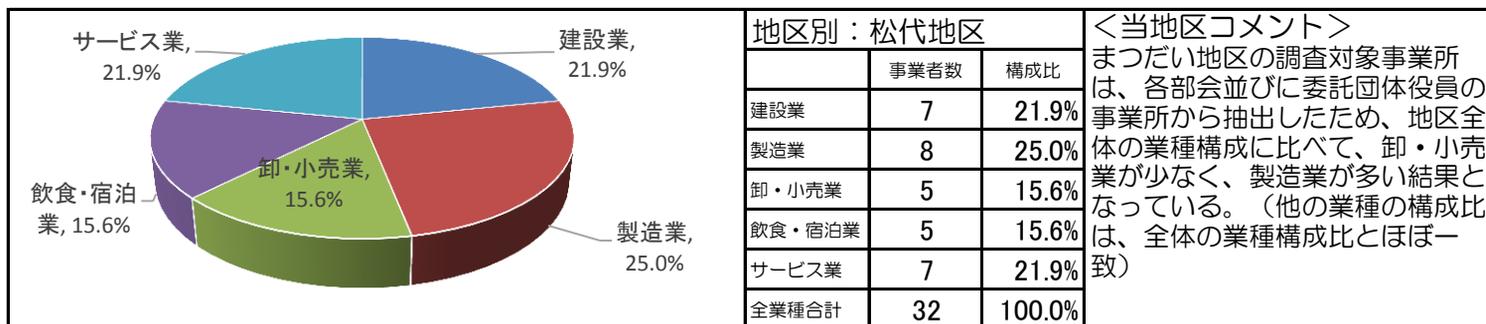
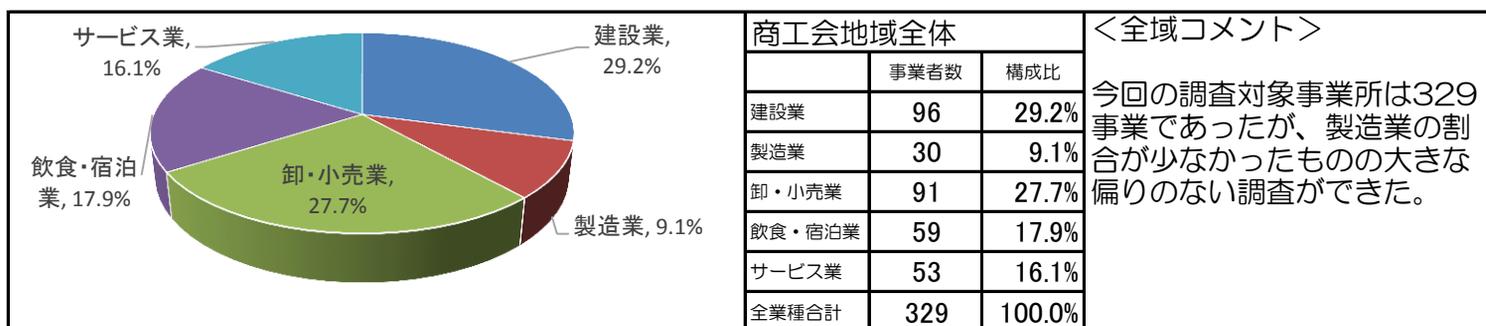


小規模事業者以外含む全事業所

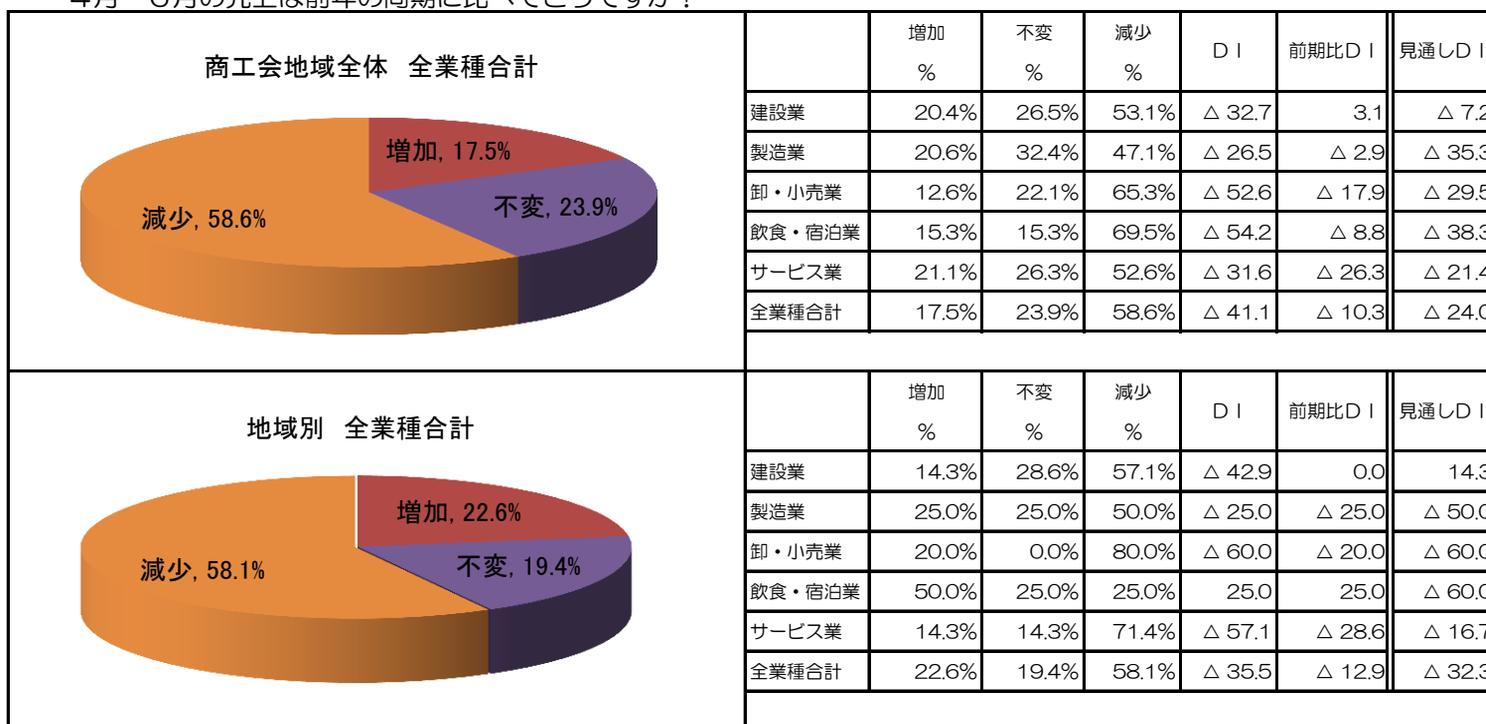
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

1. 売上について

・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



＜全域コメント＞ 商工会地域全体の全業種売上は、前年同期と比べて△41.1ポイントと減少。特に飲食・宿泊業、卸・小売業は△50ポイント以上の減少。前期比でも建設業以外は減少となった。又、今後の見通しについても、建設業の減少幅が少ないものの総じて減少と予想している。

＜当地区コメント＞
まつだい地域の全業種の売上は、前年同期比で△35.5ポイントとなっているが、飲食・宿泊業だけは「増加」が「減少」を上回っている。前期比においては、全業種でマイナス幅が減少しているが、来期の見通しにおいてはマイナス幅が拡大し、建設業を除きすべての業種で「減少」が「増加」を上回り、先行きが暗いとみている。また、十日町市全体の全業種の数値と比べても見通しの悪さが浮き彫りになっている。

2. 採算について

・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	18.4%	35.7%	45.9%	△ 27.6	△ 7.2	△ 17.5
		製造業	11.8%	55.9%	32.4%	△ 20.6	0.0	△ 17.6
		卸・小売業	13.7%	32.6%	53.7%	△ 40.0	△ 25.3	△ 26.3
		飲食・宿泊業	10.2%	20.3%	69.5%	△ 59.3	△ 26.3	△ 41.7
		サービス業	19.6%	35.7%	44.6%	△ 25.0	△ 28.6	△ 20.0
		全業種合計	15.2%	34.2%	50.6%	△ 35.4	△ 18.3	△ 24.6
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	28.6%	28.6%	42.9%	△ 14.3	0.0	0.0
		製造業	12.5%	62.5%	25.0%	△ 12.5	△ 25.0	△ 50.0
		卸・小売業	20.0%	40.0%	40.0%	△ 20.0	0.0	△ 60.0
		飲食・宿泊業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0	0.0	△ 60.0
		サービス業	14.3%	14.3%	71.4%	△ 57.1	△ 57.1	△ 33.3
		全業種合計	19.4%	38.7%	41.9%	△ 22.6	△ 19.4	△ 38.7

<全域コメント> 商工会地域全体の採算は、前年同期と比べて全業種合計で△35.4ポイント悪化。特に飲食・宿泊業は△59.3ポイントと悪化、次いで卸・小売業が△40.0ポイントと悪化を示している。前期比では、製造業以外は悪化。今後の見通しでは、製造業も含んで悪化と予想している。

<当地区コメント>

まつだい地区の全業種の採算は、前年同期比で△22.6ポイントとなっており、特にサービス業の△57.1ポイントが目立っている。前期比では、サービス業と製造業で「悪化」が上回っているが、全業種では△19.4ポイントにマイナス幅が縮小し、来期の見通しにおいて△38.7ポイントにふたたびマイナス幅が拡大し、売上の項目と同様見通しは暗いものとなっている。十日町市全体の全業種の数値に比べて、前年同期比では良く、見通しでは悪いという見方となっている。

3. 仕入単価について

・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	23.7%	71.1%	5.2%	18.6	12.5	11.5
		製造業	29.4%	67.6%	2.9%	26.5	17.6	35.3
		卸・小売業	29.5%	60.0%	10.5%	18.9	14.7	9.5
		飲食・宿泊業	43.1%	50.0%	6.9%	36.2	19.6	15.3
		サービス業	28.3%	66.0%	5.7%	22.6	13.2	7.7
		全業種合計	30.0%	63.2%	6.8%	23.1	15.0	13.4
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	28.6%	71.4%	0.0%	28.6	28.6	14.3
		製造業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0	25.0	50.0
		卸・小売業	60.0%	40.0%	0.0%	60.0	60.0	20.0
		飲食・宿泊業	75.0%	25.0%	0.0%	75.0	50.0	20.0
		サービス業	14.3%	85.7%	0.0%	14.3	14.3	16.7
		全業種合計	35.5%	64.5%	0.0%	35.5	32.3	25.8

<全域コメント> 商工会地域全体の仕入単価は、前年同期と比べて全業種合計では23.1ポイント上昇であるが、不変割合は63.2%である。前期比でも15.0ポイント上昇。今後の見通しでも、上昇予想傾向にある。特に製造業は35.3ポイントと大幅に上昇予想しており、売上原価が上昇傾向にあることがうかがえる。

<当地区コメント>

まつだい地区の全業種の仕入単価は、前年同期比で35.5ポイントとなっており、すべての業種において「低下」という回答は0で、「上昇」又は「不変」という回答になっている。卸・小売業と飲食・宿泊業で「上昇」という回答が多く、前期比でも同じ傾向が見られ、販売価格やメニュー価格への転嫁が課題であると伺える。来期の見通しでも「上昇」が多く、製造業でその傾向が強い。十日町市全体の全業種の数値に比べて、すべてにおいて「上昇」の幅が大きい。

4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	6.2%	76.3%	17.5%	△ 11.3	△ 7.3	△ 9.4
		製造業	0.0%	75.8%	24.2%	△ 24.2	△ 9.1	△ 15.2
		卸・小売業	8.4%	50.5%	41.1%	△ 32.6	△ 24.2	△ 26.3
		飲食・宿泊業	3.4%	57.6%	39.0%	△ 35.6	△ 28.1	△ 26.7
		サービス業	16.4%	61.8%	21.8%	△ 5.5	0.0	△ 13.0
		全業種合計	7.4%	63.4%	29.2%	△ 21.8	△ 14.6	△ 18.3
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	14.3%	71.4%	14.3%	0.0	14.3	0.0
		製造業	0.0%	62.5%	37.5%	△ 37.5	△ 37.5	△ 12.5
		卸・小売業	20.0%	40.0%	40.0%	△ 20.0	△ 20.0	△ 60.0
		飲食・宿泊業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 20.0
		サービス業	0.0%	85.7%	14.3%	△ 14.3	△ 14.3	△ 16.7
		全業種合計	6.5%	67.7%	25.8%	△ 19.4	△ 16.1	△ 19.4

<全域コメント> 商工会地域全体の販売単価は、前年同期と比べて全業種合計では△21.8ポイント減少であるが、不変割合は63.4%である。前期比では△14.6ポイント減少。今後の見通しでは、全業種で減少と予想している。

<当地区コメント>

まつだい地域の全業種の販売単価は、前年同期比△19.4ポイントであり、建設業を除いてすべての業種で「減少」が「上昇」を上回っている。また、製造業、飲食・宿泊業、サービス業で「上昇」の回答が0で消費が伸びていない状況が伺える。前期比においては、建設業のみ「上昇」の回答が「減少」より多く、来期の見通しにおいては、全ての建設業者の「不変」という回答に対して、他の業種は「減少」という回答が「上昇」より多く、卸・小売業では特に目立っている。

5. 資金繰りについて

・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	6.1%	62.2%	31.6%	△ 25.5	△ 11.3	△ 15.5
		製造業	8.8%	79.4%	11.8%	△ 2.9	△ 2.9	△ 17.6
		卸・小売業	7.4%	56.4%	36.2%	△ 28.7	△ 22.3	△ 22.3
		飲食・宿泊業	6.8%	61.0%	32.2%	△ 25.4	△ 19.0	△ 28.3
		サービス業	8.8%	63.2%	28.1%	△ 19.3	△ 12.3	△ 14.3
		全業種合計	7.3%	62.3%	30.4%	△ 23.1	△ 15.0	△ 19.6
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	0.0%	71.4%	28.6%	△ 28.6	0.0	0.0
		製造業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
		卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	0.0	△ 25.0
		飲食・宿泊業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0	0.0	△ 20.0
		サービス業	0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 42.9	△ 33.3
		全業種合計	3.3%	66.7%	30.0%	△ 26.7	△ 16.7	△ 20.0

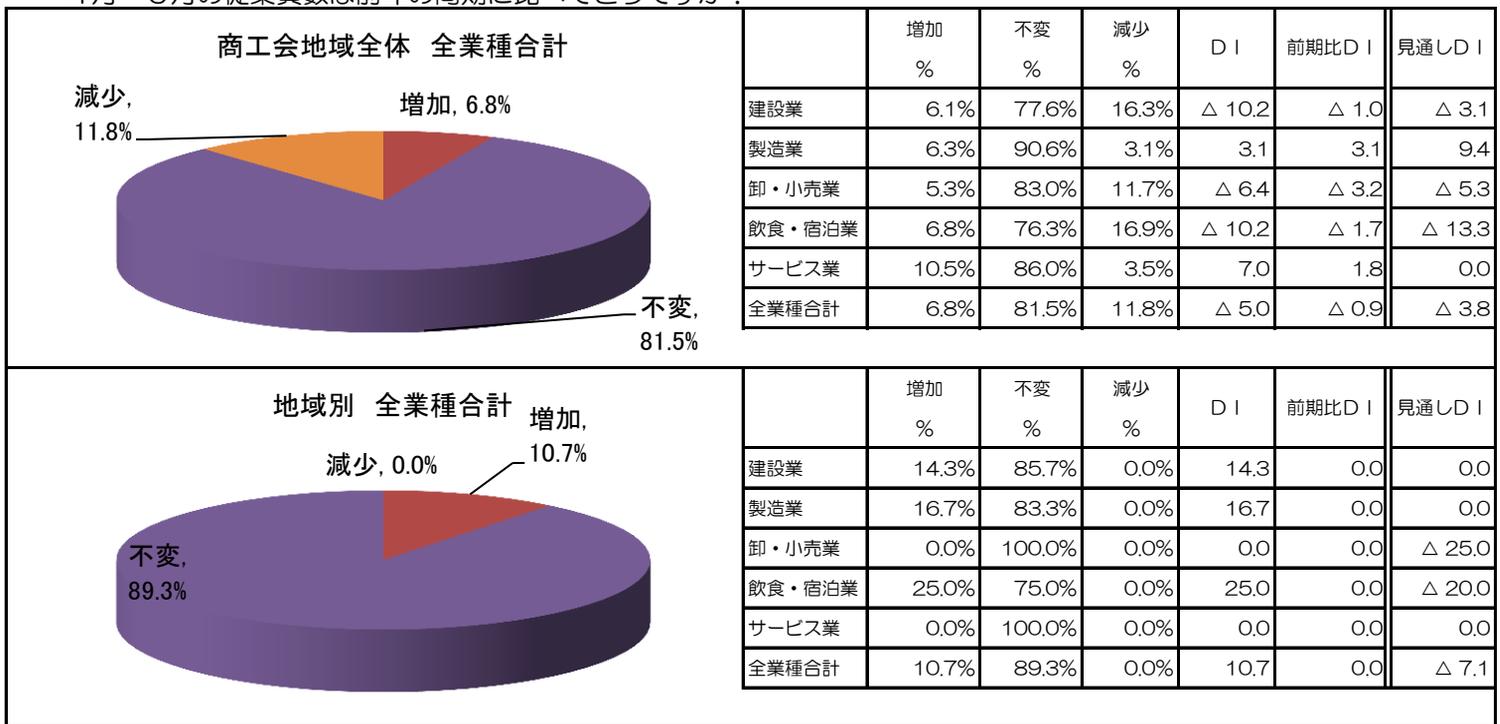
<全域コメント> 商工会地域全体の資金繰りは、前年同期と比べて全業種合計で△23.1ポイント悪化であるが、製造業は悪化の数値が低い。又、不変割合は62.3%である。前期比では全業種で△15.0ポイント悪化。今後の見通しでも、全業種で悪化と予想している。

<当地区コメント>

まつだい地区の全業種の資金繰りは、前年同期比で△26.7ポイントであり、飲食・宿泊業を除き「悪化」が「好転」を上回っている。また、他の業種では「好転」と回答した事業所が0となっており特徴のある結果となっている。前期比においては、製造業、サービス業で「悪化」が多くなっている。来期の見通しは、建設業を除き「悪化」という回答が「好転」より多くなっている。資金繰りに関する項目は、十日町市全体の全業種の数値と同様の結果となっている。

6. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？



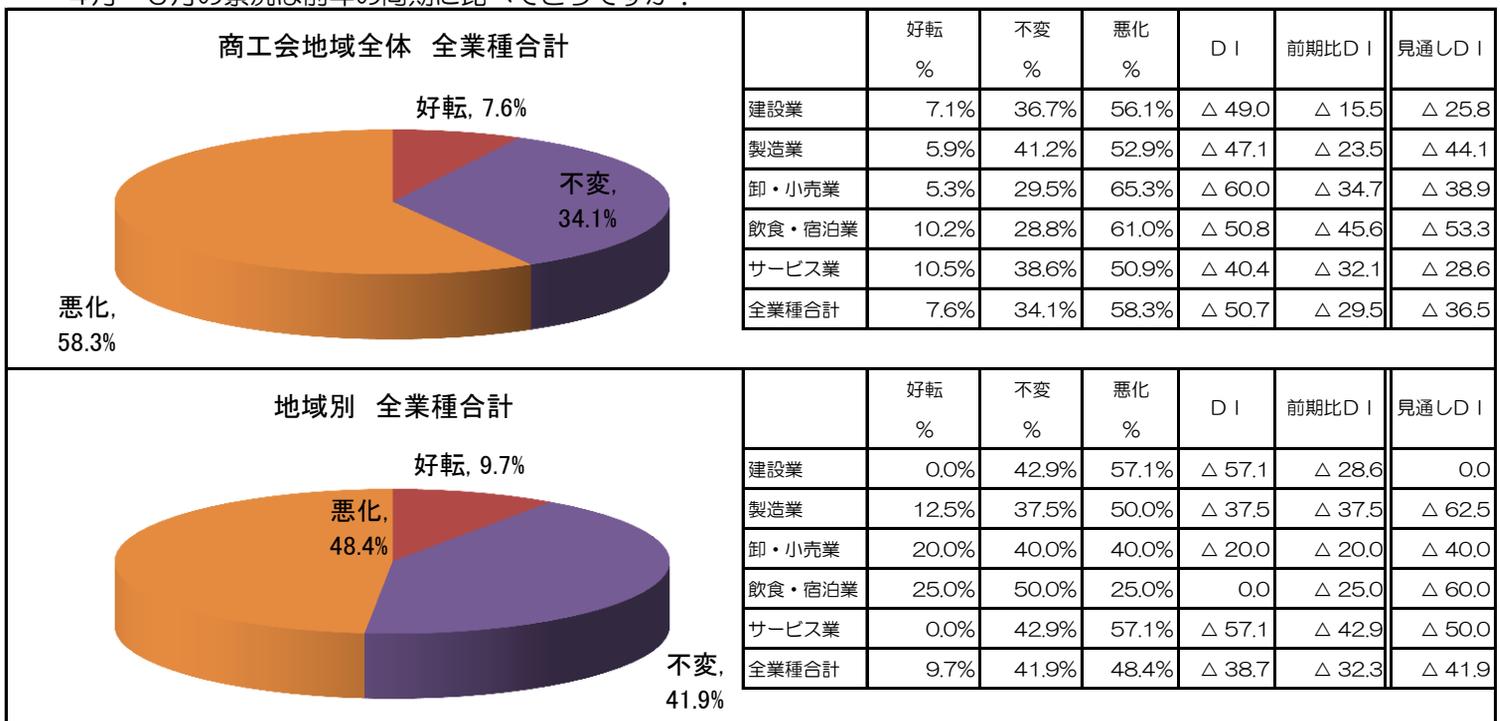
<全体コメント> 商工会地域全体の従業員数は、前年同期と比べて、全業種合計で△5ポイント減少であるが、製造業とサービス業は増加。又、不変割合は81.5%である。前期比でも前年同期比と同傾向。今後の見通しでは、製造業は増加、サービス業は不変予想をしているが、その他業種は減少と予想している。

<当地区コメント>

まつだい地域の全業種の従業員数は、前年同期比で約9割が「不変」という回答になっており、「減少」の回答は1件もなく雇用動向は安定している。但し、来期の見通しでは、卸・小売業、サービス業において「減少」という回答があり、売上、採算、資金繰りなどの見通しの暗さに対する対応策の一つを人件費の抑制に置いていることが伺える。

7. 景況判断について

・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

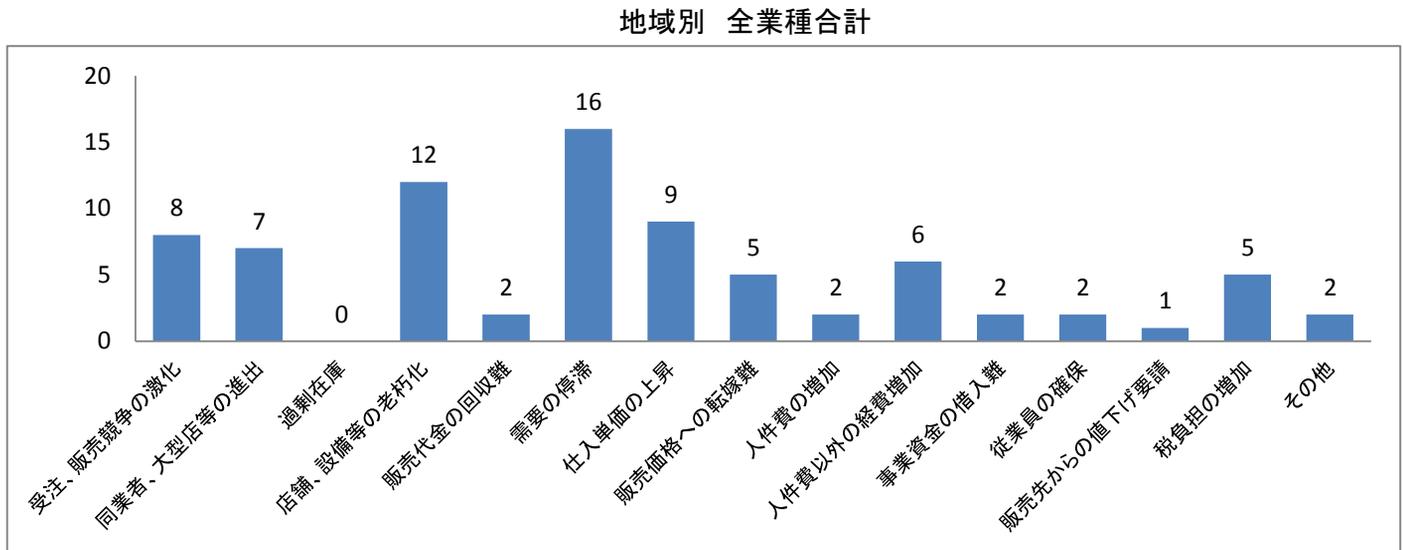
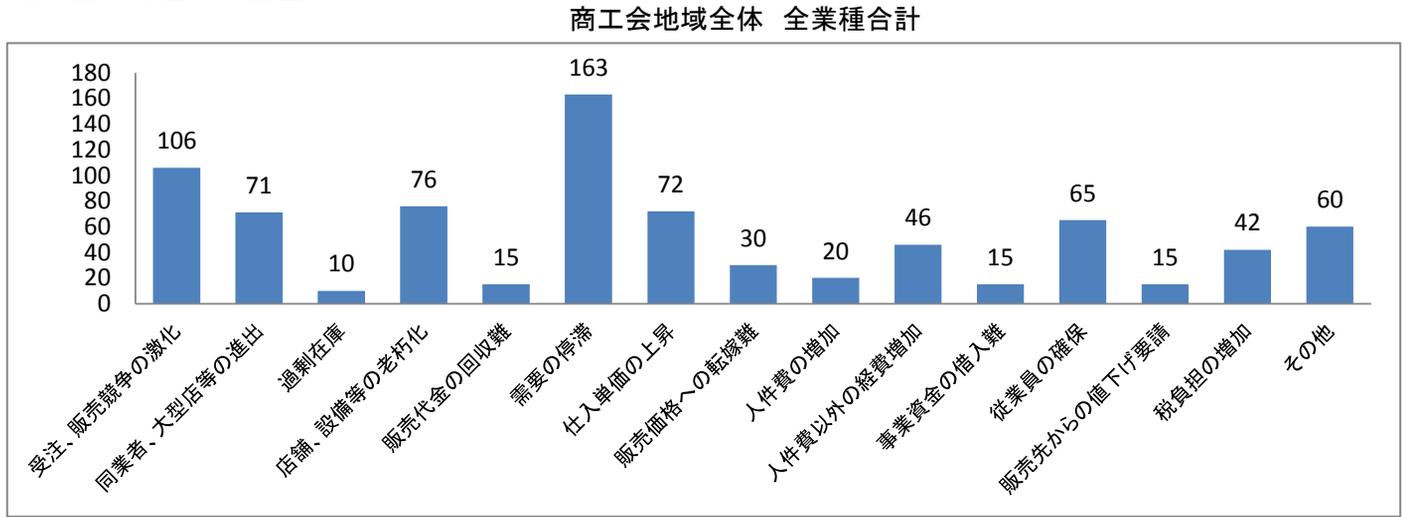


<全域コメント> 商工会地域全体の景況判断は、前年同期と比べて、全業種合計で△50.7ポイント悪化。特に卸・小売業は△60ポイントと悪化している。前期比でも△29.5ポイント悪化。特に飲食・宿泊業が△45.6ポイントと悪化している。今後の見通しでも、全業種で悪化と予想しているが、特に飲食・宿泊業が厳しい見方をしている。

<当地区コメント>

まつだい地域の全業種の景況判断は、前年同期比△38.7ポイントであり「不変」の回答が半数近くあるものの「悪化」が「好転」を大きく上回る結果となり、前期比、来期の見通しでも同様の傾向となっている。前年同期比で「好転」という回答は全体の9.7%であり、前期比においても同じ数値となっているが、来期の見通しでは3%に減っている。全体を通して厳しい景況感であることが伺える。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



＜全域コメント＞ 商工会地域全体の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」4位「同業者、大型店等の進出」5位「店舗、設備等の老朽化」6位「従業員の確保」7位「その他」となっている。

＜当地区コメント＞

まつだい地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」、2位「店舗、設備等の老朽化」、3位「仕入単価の上昇」、4位「受注、販売競争の激化」、5位「同業者、大型店等の進出」となっており、上位5つは順位に多少の違いはあるものの十日町全体の問題点と同じ状況になっている。2番目に多い設備等の老朽化については、内部要因として計画性を持った対応が必要である。

9. 後継者の状況について

- 4月～6月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	39.6%	60.4%
製造業	50.0%	50.0%
卸・小売業	31.9%	68.1%
飲食・宿泊業	49.2%	50.8%
サービス業	41.5%	58.5%
全業種合計	40.4%	59.6%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	42.9%	57.1%
製造業	37.5%	62.5%
卸・小売業	0.0%	100.0%
飲食・宿泊業	0.0%	100.0%
サービス業	14.3%	85.7%
全業種合計	21.9%	78.1%

＜全域コメント＞

商工会地域全体の後継者の状況については、全業種合計で59.6%の事業所で後継者が無い状況である。特に、卸・小売業では、68.1%の事業所で後継者が無い状況である。

＜当地区コメント＞

まつだい地区の後継者の状況は、全業種の78.1%が、「後継者なし」と回答している。特に卸・小売業、飲食・宿泊業においては100%の回答であり、事業主の年齢構成を確認する必要があるが、対策が必要なところである。

10. 景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

<全域コメント>

<建設業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化しているが、特に「売上」「採算性」の悪化が目立つ。しかし前期との比較では、「売上」は増加、その他項目の減少幅は小さくなっているが、これは当地域の特性であり、冬場と比べ仕事量が増えたことによるものと推察される。来期見通しでも、従来であれば当地域の特性から仕事量は増えて、期待感が高まるのが通例であるが、先行きを厳しく見ている。それは、経営上の問題点の1位「受注、販売競争の激化」2位「需要の停滞」を上げている方が多いことにも見られる。又、従業員の高齢化に伴うものと思われるが、経営上の問題点3位に「従業員の確保」が上がっていることは注目に値する。

<製造業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。「仕入単価」の上昇と「販売単価」の減少により、「採算性」が悪化すると共に、「売上」も減少している。前期との比較では、回復傾向は見られるものの、「仕入単価」の上昇が見られ、来期見通しでも、「仕入単価」の上昇が懸念され、需要の停滞と受注・販売競争の激化により、回復への期待感は低いものの従業員数を増加予想しており、期待感は若干ある。

<卸・小売業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。特に「売上」の減少が著しい。前期との比較では、悪化傾向は縮小している。経営上の問題点の1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」と外部要因を問題に掲げており、これを踏まえて来期の見通しも回復の期待が持てない結果となっているが、「店舗、設備等の老朽化」が経営上の問題点の4位となっており、内部要因を問題にしている方もいる。

<飲食・宿泊業>

今期の景況を前年同期で比較すると、「販売単価」の低下を含み「売上」が減少し、「仕入単価」の上昇も手かせとなり「採算性」も悪化している。前期(冬場)との比較では、「売上」を増加と減少と回答した方々は、ほぼ同数であるが、景況判断は悪い。来期見通しでは、仕入単価の上昇と販売単価の減少を含み「売上」減少を予想し「採算性」が悪化すると非常に厳しい見方をしている。経営上の問題点の1位が「店舗、設備等の老朽化」であり、内部要因を問題視している方が多い。

<サービス業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。「売上」の減少により「採算性」も悪化しており、前期との比較でも、この傾向は変わらない。来期見通しについても、この傾向が継続すると予想している。経営上の問題点1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」が同数、5位「税負担の増加」となっている。

以上業種別景況概要を踏まえ、全産業ベースで前年同期と比べて悪化していると言える。前期(冬場)比では、本年の小雪の影響で建設業の売上が減少し、これが製造業を除く産業に波及し低迷していたものが、建設業は底辺から脱却しただけであり、製造業を除くその他の業種では、益々悪化している。来期の予想においては、国内外の政治・経済の動向、自然災害の影響などの不安材料と益々加速する少子高齢化等による人口減少を背景に、先行きを厳しく捉えている方が多い。

<当地区コメント>

<建設業>

前年同期比では、売上、採算性、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が上回っている。前期比では、売上、採算性は、「増加・好転」、「不変」、「減少・悪化」が均衡した回答となっているが、景況判断は「悪い」とする回答が上回っている。経営上の問題点でもあげている通り、需要の停滞や受注・販売競争の激化による影響と思われる。来期の見通しについては、「不変」という回答が一番多くなっている。

<製造業>

前年同期比では、売上、採算性、販売単価、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が上回っている。前期比においても同じ傾向が示されている。来期の見通しについては、「減少・悪化」の傾向がますます強まり、先行きに不安を抱える結果となっている。また、今後仕入単価が上昇すると見込む事業者が半数あり、経営上の問題点にもあげられている。

<卸・小売業>

前年同期比では、売上、採算性、販売単価、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が上回っている。特に売上の減少を回答した事業者が多い。前期比では、各項目ともマイナス幅が縮小している。来期の見通しでは、売上の増加を回答している事業者が1件あるが、他は全て「不変」または「減少・悪化」の回答であり、経営上の問題点にもあげられている通り、「需要の停滞」と「同業者・大型店等の進出」により先行きは厳しいとみている。

<飲食・宿泊業>

前年同期比では、売上、資金繰りにおいて、「増加・好転」の回答が見られるものの、仕入単価上昇の回答が多くみられる。前期比においても同じ傾向が示されている。来期の見通しでは、「増加・好転」の回答が全くなく、厳しい状況が伺える。経営上の問題点では、設備等の老朽化が最も多く、資金繰りを含めた対応策が必要である。

<サービス業>

前年同期比では、売上、採算性、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が多く、他の業種と比較しても割合が高い。一方、販売単価は、「不変」という回答が多く、顧客数の減少が伺える。前期比でも同じ傾向が示されている。来期の見通しでは、「増加・好転」の回答が若干増え、多少の期待感を持たせる状況となっている。経営上の課題では、設備等の老朽化に悩む事業者が多く見受けられる。

以上、業種別の景況概要を踏まえて、全業種の動向をまとめると前年同期に比べ業況が悪化している事業者が多く、「需要の停滞」に加え、「仕入単価」の上昇があるが価格に転嫁できない状況が伺える。前期比較においては、経済活動の鈍る冬季との比較であり、季節変動があるため全体的に前年同期比よりマイナス幅は減少している。来期の見通しについては、再びマイナス幅が拡大し、まつだい地区の景況判断は非常に厳しいという結果となっている。経営上の問題点では、「店舗・設備等の老朽化」を上げる事業者が多く、「需要の停滞」等の外部要因への対策に加えて、多額の資金を要する内部要因への対策も必要な状況が伺える。